

平成 30 年度

学生によるオレンジリボン運動

関西福祉大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学科佐伯文昭ゼミ(共催:兵庫県児童養護施設連盟等)

実施内容 平成30年10月6日~7日 大学祭(汐風祭)にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

佐伯ゼミと大学のサークル「メンタルフレンドひまわり」、兵庫県下の児童福祉施設と協働で開催するため、事前に打合せを行い、啓発活動の具体的な内容を決める。今年で6回目の開催であり、上級生にとってはすでに周知の内容が多い。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

来場者に児童虐待の定義や実態、施策等の説明を行った。また、兵庫県下の児童福祉施設の紹介冊子と児童福祉施設のパネルによる施設紹介を行った。さらに親子の絆を深めてもらうため、親子ふれあいコーナー(兵庫県のゆるキャラである「オレンジはばタン」の塗り絵、折り紙、マラカス作り、カプラ、ドキドキアンパンチ、アートバルーン、新聞プール等)を設け、850名の親子に楽しんでもらった。アートバルーンは人気であり、用意していた700本の風船があっという間になくなった。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

大学祭に来場された多くの方々に児童虐待の実態を知っていただくため、「親子ふれあいコーナー」をより充実しました。人気のあった新聞プールのさらなる改良とアートバルーンの充実を行い、来場者が昨年の800名を超えました。

学生は授業、DVD、マスコミ等で、児童虐待の実態を知り、児童虐待の防止に強い関心を抱いています。このオレンジリボン運動を通じて、児童虐待の啓蒙・啓発の思いを少し果たせたのではないかと思います。

今年も多くの学生が児童虐待(児童福祉)への関心をさらに深め、卒業後、児童に関わる職業に携わりたいとの気持ちを強く持ったように感じます。

来年度もオレンジリボン運動を実施する予定ですのでよろしくお願いいたします。



【オレンジリボン大学】 <http://~~~.ac.jp>